

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大砂土障害者デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 北区本郷町17-7</p> <p>②施設の設置目的 障害者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの提供及びその他の支援を行い、障害者の福祉の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 敷地面積 1,007.67㎡ 延床面積 1,567.58㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 3階建 事業内容 生活介護事業（定員14人）平成18年10月指定 自立訓練（機能訓練）事業（定員6人）平成18年10月指定 相談支援事業（特定相談支援・障害児相談支援）平成27年4月指定</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料（直近3か年） 令和3年度56,032千円、令和4年度56,032千円、令和5年度56,032千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況（利用状況含む）</p> <p>◇利用状況</p> <p><生活介護事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 3,305人（前年度 2,770人） ・稼働率 97.1%（前年度 83.1%） <p><自立訓練（機能訓練）事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 1,385人（前年度 979人） ・稼働率 95.0%（前年度 68.6%） <p><相談支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 81人（前年度 74人） <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所日数 243日 ・防災訓練（大砂土ふれあいの里として） ・健康相談 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃等管理業務（日常清掃、定期清掃、衛生管理）・機械警備業務 ・一般廃棄物収集運搬処理業務・消防設備保守点検業務 ・自家用電気工作物保守点検業務・エレベーター設備保守管理業務 ・空調設備保守点検業務・公共建築物定期点検業務 <p>③その他の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大砂土ふれあいの里施設管理
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害サービス等収入51,590千円（前年度42,697千円） ・指定管理料56,032千円（前年度56,032千円） ・その他898千円（前年度8,815千円） ・修繕積立資産取崩収入9,900千円 <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費72,391千円（前年度70,258千円） ・事業費3,573千円（前年度3,622千円） ・事務費2,411千円（前年度2,240千円） ・施設管理費11,495千円（前年度8,546千円） ・繰入金5,163千円（前年度10,027千円） ・その他5,348千円（前年度3,284千円） ・本部追加繰入金17,650千円

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	法人全体の対応として、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」の設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による福祉サービス利用者アンケートの実施等、利用者からの意見・要望を受ける機会を設けた。施設としては、行事ごとに満足度調査アンケートを実施し、ご利用者のご意見ご感想を伺った。いただいたご意見ご要望は職員間で共有し、検討した。 自宅での入浴が困難なため、外出活動等の日も入浴サービスを受けたいとのご要望があった。入浴することで出発時間が遅くなるため、短時間の外出プランも設定し、外出先を選択性にすることで対応した。
(8)その他	水分補給のお茶について、麦茶以外も飲みたい、というご希望に対し、ほうじ茶と玄米茶も用意し、好きなお茶を飲んでいただけるように変更した。

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
生活介護事業では一人ひとりの思いを尊重し、自分らしい生活が送れるよう質の高いサービスを提供します。	日頃から相談しやすい雰囲気作りや話しかけやすい表情を心がけながら、ご利用者とコミュニケーションを図り、何気ないご意見やご要望を聴取するよう努めた。ご意見ご要望は全職員で共有し、検討した。丁寧な説明を心がけ、あらゆる場面でご利用者を選択していただき意思決定を尊重した支援を行った。
自立訓練事業では、一人ひとりの個性と可能性を引き出し、自信と希望のある生活を共にみつけます。	ご利用者一人ひとりの意向に沿った目標を設定し、理学療法士を中心に身体機能及び生活能力の維持、向上のために必要な訓練を行った。外出訓練など社会生活の環境に応じた訓練を実施することで経験を積みながら身体機能の向上を図った。
相談支援事業では、利用者一人ひとりが、住み慣れた地域で、各種の福祉サービスを利用しながら育まれるとともに、自分らしく安心して暮らすことができるよう、相談支援を提供します。	ご利用者が住み慣れた地域でよりよい生活を送ることができるよう区役所支援課や障害者生活支援センター、福祉サービス事業所等と連携した。 アセスメントに基づき、ご利用者の状況に応じたサービスが受けられるようサービス等利用計画書を作成し、必要に応じて即時に相談、対応できる体制を構築した。

3 評価

(1)指定管理者による評価

<p>生活介護事業では、活動にeスポーツを取り入れたことで、ご利用者同士の関わりが増え、新たな交流の機会となった。小学校の春休み、夏休み、冬休みには児童クラブと共催でeスポーツイベントを開催し、自立訓練事業のご利用者にも参加していただき、地域交流、異世代交流の機会となり、回数を重ねるごとに相互理解が深まっている。ご家庭の都合やイベント開催日等、利用予定日以外も受け入れることで、稼働率の向上につながった。</p> <p>自立訓練事業では、新規の契約者2名、終了者3名ではあったが、ご都合によるスケジュール変更に対応することで、契約者の方々に、休まずに利用していただき、稼働率は向上した。</p> <p>経費削減については、館内清掃を職員による清掃に変更し、大砂土ふれあいの里受付業務をデイサービス職員が行うことで、業務委託費を削減した。</p>

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価 **(B)** ※A~D

昨年度と比較し、生活介護及び自立生活訓練ともに施設稼働率が大きく上昇しており、障害福祉サービス収入額も増加した。この要因としては、イベントの開催による活動内容を見直したことだけでなく、ミーティング等で施設職員がサービス提供の対応方法等についてしっかりと共有できていると考えられる。

また、「大砂土ふれあいの里」の施設管理者として、施設の点検や防災訓練の実施するなど、適切に管理を行った。

以上のことを踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。